



2023年度(令和5年度)
全日畜 多角化シンポジウム
「畜産の多角化経営が成功するためのポイント」

事例紹介 ③

演題

養豚と和牛生産と食肉加工・販売を手掛ける
多角化経営

講師

有限会社 鹿野ファーム
代表取締役 隅 明憲 氏



安心・安全な商品をお届けするために

【6次産業化への取組】

有限会社鹿野ファーム



鹿野ファームグループの沿革-1

- 1982年 鹿野ファーム本場 法人設立
- 1983年 施設完成とともに業務開始
- 1984年 ハイポーGP農場認定
- 1987年 三原ファーム設立
- 1989年 食肉加工部門開始(手造りハイポーハム)
- 1989年 コープやまぐち産直開始
- 1989年 JA鹿野堆肥センター稼働
- 1991年 和牛部門開始
- 1994年 畜産物加工施設整備(ハム工房)

 Kano Farm Style

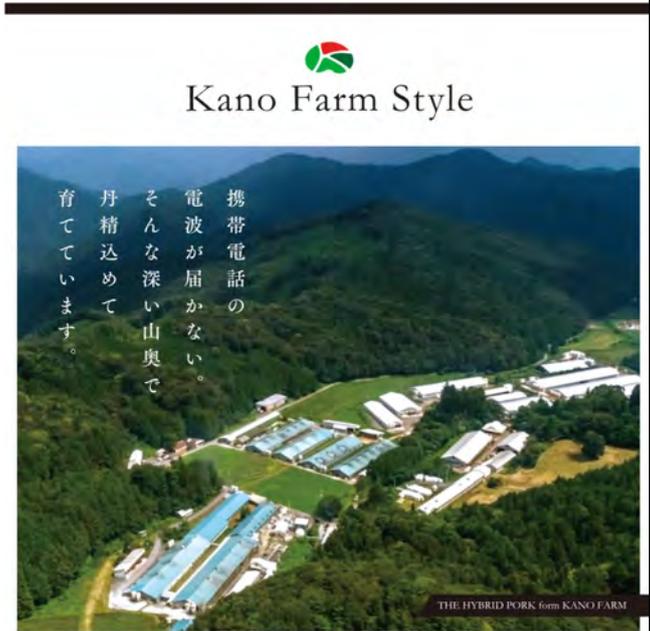


THE HYBRID PORK from KANO FARM

鹿野ファームグループの沿革-2



- 1996年 県内スーパー産直開始
- 1997年 繁殖牛舎、肥育牛舎等整備
- 2000年 草地造成完了
- 2004年 阿武町阿武分場開設（母豚300頭）
- 2005年 ハム工房ISO9001取得
- 2005年 バイオガスプラント整備
- 2014年 新規惣菜工場完成（6次産業化）
- 2019年 増頭規模拡大（畜産クラスター事業）



鹿野ファームグループの施設





会社概要

- ① 鹿野ファームとは
 - ・農場部門
 - ・ハム工房部門（加工品・販売）
- ② 使命
 - ・鹿野ファームグループとしての使命
- ③ 取組
 - ・地域貢献や環境問題への取組



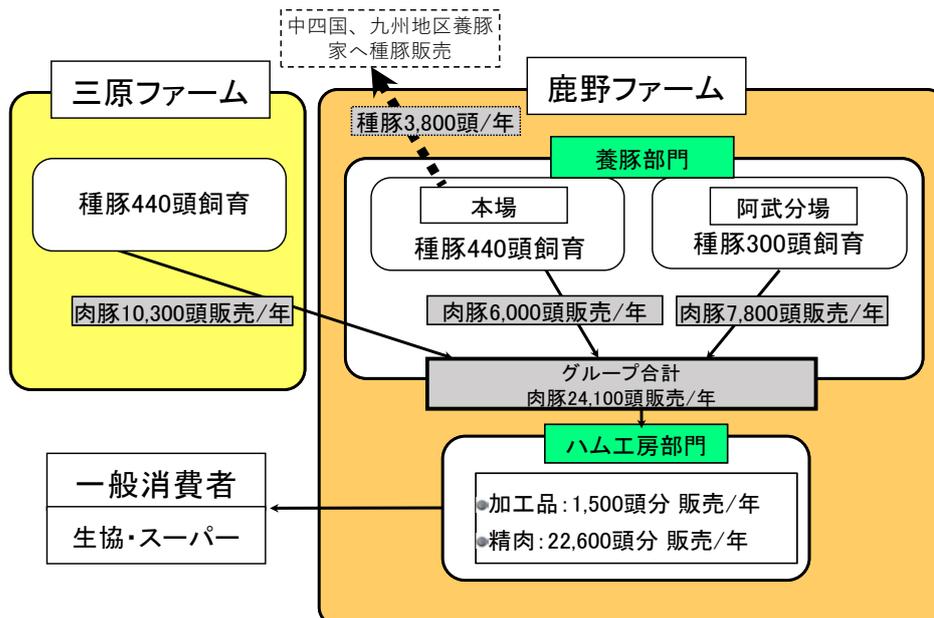
① 鹿野ファームとは
 ～農場部門その①～
 (ハイポー豚) について
 鹿野あじわい豚・鹿野高原豚

グループ農場含め 肉豚を年間約50,000頭出荷

【鹿野本場+阿武農場】 + 【三原ファーム】

増頭規模拡大前

農場単位で繁殖から肥育まで一貫生産



増頭規模拡大後

三原ファームに繁殖を集中したツースイト増産

鹿野ファームの生産・管理体制

鹿野ファームでは、グループ企業である「有限会社三原ファーム」も含め、下記の生産体制でブランド豚「鹿野高原豚」「生協産直豚肉」を年間約4.9万頭生産しています。三原ファームは、農場設備や飼料の選定、オールインオールアウト方式による飼育方法等、全てを鹿野ファーム本社農場と同様に管理し、品質を維持しています。



三原ファーム



ハイポーハム工房



鹿野ファーム全景



鹿野ファーム

養豚部門

肉豚：39,400頭 販売/年
種豚：4,000頭 販売/年

本場

母豚：440頭飼育
肉豚：31,600頭 販売/年
種豚CD♀：4,000頭 販売/年

阿武分場

母豚：300頭飼育
肉豚：7,800頭 販売/年

和牛部門

黒毛和牛50頭 販売/年

ハイポーハム工房

加工品：6,000頭分 販売/年 精肉：38,000頭分 販売/年 惣菜：1,000頭分 販売/年

三原ファーム

母豚：1,370頭飼育
肉豚：10,000頭 販売/年
子豚：25,600頭 販売/年



鹿野ファームグループの 銘柄豚（ハイポー豚）

- 自然豊かな環境で、大切に育てられています
- オランダで造成され、日本国内向けに国内で育種改良された日本人好みで高品質な豚肉。
保湿性が高く、柔らかくできめが細やか、適度な脂肪分含む
- 飼料へのこだわり
麦類・国産米を多給 → 風味、旨味、肉色、肉締まり向上
海藻粉末 → 豚の腸内環境を整え健康に育てる
緑茶粉末 → カテキン作用等によりドリップの少ない豚肉に
- 飼養管理
オールインオールアウト方式 → ストレス低減、疾病予防
飼養管理の履歴保管 → 飼養履歴のトレース
専任の獣医師2名、定期的巡回指導



飼養管理の履歴保管

- ①オールイン・オールアウト方式
- ②飼料へのこだわり
- ③投薬プログラム

全てを管理&記録
定期的な抗生物質や抗菌剤の残留検査を行い
食の安心・安全を確保

Kano Farm Style



① 鹿野ファームとは ～ハム工房部門（加工編）～ 本物志向のハム・ソーセージ

農場で生産した豚肉のみを
原料として本格派の
ハム・ソーセージや、惣菜を製造販売
※一部鶏製品も製造（長州鶏）



人里離れた奥深い山に守られた
鹿野ファーム。
飼育から生産までを
行うからこそ、
素材、飼育環境、エサ、
そして味にこだわります。
鹿野高原から食卓へ、
愛情を込めてお届けします。



本物志向の ハム・ソーセージ

手間暇かけて製造
余分な物は使用しない
樫の木のチップを使用しスモーク

肉本来の旨味をご堪能ください。



① 鹿野ファームとは ～ハム工房部門（販売編）～



Kano Farm Style



銘柄豚の販売

ハイポー豚

鹿野高原おこめ豚・・・スーパーや百貨店

鹿野あじわい豚・・・生協さんとの取組で開始





直売事業

道の駅 ソレーネ周南
「ビストロ鹿野農場」



② 鹿野ファームの使命

鹿野ファーム品質方針

～お客様のニーズ、要求事項を確実に把握し、
安心安全でお客様から高い評価が得られる製品
を提供致します。～

2005年に
信頼の証・ISO9001：2015取得



NO.2326 ISO-9001



R002



鹿野ファームの理念

P
HILOSOPHY

企業理念

お客様の豊かな食卓と笑顔を創造していく
ため、私たちは生産・加工一貫体制の元、
地域と融和し、農業を通じて命を育み、安
心・安全な食品を生み出してまいります。



鹿野

It gives the rich, modern taste
with the traditional technique.

鹿野ファームのミッション・ビジョン



MISSION

ミッション

食卓が笑顔で溢れるために、地域から愛情をお届けします。

VISION

ビジョン

企業理念のもと、1次・2次・3次産業での成功を取め、日本を代表する6次産業化企業を目指します。

企業理念

MISSION

VISION

Behavior Identity / 1

Making safe and delicious delicious food-5 articles-

安心・安全な美味しい食品づくり -5カ条-

- ① 自然豊かな環境と最適な飼育環境で健康的な豚を育てます。
- ② 生産・加工・販売一貫体制により安心・安全な商品をつくります。
- ③ 愛情をもって丁寧に一品一品こだわりの食品をつくります。
- ④ 技術改良と創意工夫により肉本来の旨味を引き出す商品をつくります。
- ⑤ 時代と共に求められるニーズに対応した食品をつくりつづけます。

Behavior Identity / 2

Coexistence and Co-prosperity-3 Articles-

共存共栄 -3カ条-

- ① 地域と融和し協業することで共存共栄を図ります。
- ② 適切なコミュニケーション活動を行い相互理解に努めます。
- ③ お客様、社員、家族との繋がりを大切に、共に豊かな地域づくりを目指します。



働く姿勢 -10カ条-

- ① 誠実と信頼を大切に、一生懸命取り組みます。
- ② ルールを順守し、責任感をもって務めを果たします。
- ③ 自信をもってリーダーシップを発揮し、果敢に挑戦します。
- ④ チームワークと協調を大切に、社員一丸となって取り組みます。
- ⑤ 公正・公平性をもって仲間とメンバーの評価と処遇を行います。
- ⑥ 向上心を持ち切磋琢磨することで成長と進化をとげます。
- ⑦ 創意工夫と市場の創造により新たな価値を提供します。
- ⑧ 事業に関わるすべての関係者に思いやりと愛情をもって感謝を忘れません。
- ⑨ 成功や失敗の経験を成長の糧とし、困難を恐れず積極的に挑戦します。
- ⑩ 仕事にやりがいを見出し、楽しく取り組みます。

鹿野
I gave the dish modern taste
with the traditional technique.
鹿野

人里離れた奥深い山に守られた
鹿野ファーム。
飼育から生産までを
行うからこゝろ、
素材、飼育環境、工程、
そして味にたわります。
鹿野高原から食卓へ。
愛情を込めてお届けします。

③ 取組

地域貢献

地域にあり、地域に融和し、地域を支える

SDG s に沿った具体的な取組

目標6 水と衛生
すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する

- 6.1 2030年までに、すべての人々の、安全かつ信頼できる持続可能な集約型水サービスと衛生サービスを確保する。
- 6.2 2030年までに、すべての人々の、適切な衛生と下水処理・衛生施設へのアクセスを確保し、都市や農村部を問わず、安全な公共用水供給と衛生施設へのアクセスを確保する。
- 6.3 2035年までに、淡水生態系を回復し、持続可能な利用と生態系サービスの向上に貢献する。
- 6.4 2030年までに、淡水資源の持続可能な開発と管理を確保し、水質汚染を削減し、水資源の持続可能な利用を確保する。
- 6.5 2030年までに、陸域生態系の持続可能な開発と管理を確保し、水質汚染を削減し、水資源の持続可能な利用を確保する。
- 6.6 2030年までに、淡水生態系を回復し、持続可能な利用と生態系サービスの向上に貢献する。
- 6.7 2030年までに、水と衛生の持続可能な開発と管理を確保し、水質汚染を削減し、水資源の持続可能な利用を確保する。

目標7 エネルギー
すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する

- 7.1 2030年までに、安価かつ信頼できる近代的エネルギーサービスへの普遍的アクセスを確保する。
- 7.2 2030年までに、世界の再生可能エネルギーの割合を大幅に拡大させる。
- 7.3 2030年までに、世界の再生可能エネルギーの成長率を確保させる。
- 7.4 2030年までに、再生可能エネルギー、エネルギー効率及び先進的かつ環境負荷の低い化石燃料技術のすべてのクリーンエネルギーの研究及び開発へのアクセスを確保するための国際協力を増進し、エネルギー関連インフラとエネルギーシステムへの投資を促進する。
- 7.5 2030年までに、各国の気候プログラムによって開発途上国、特に開発途上国及び小島開発途上国、持続可能な開発のすべての人々に現代的で持続可能なエネルギーサービスを提供できるように、インフラ開発を推進する。

目標8 働きがいと経済成長を促進する

- 8.1 2030年までに、世界の国内総生産（GDP）の年平均成長率を少なくとも7%に引き上げる。
- 8.2 2030年までに、世界の労働生産性を少なくとも70%向上させる。
- 8.3 2030年までに、世界の労働生産性を少なくとも70%向上させる。
- 8.4 2030年までに、世界の労働生産性を少なくとも70%向上させる。
- 8.5 2030年までに、世界の労働生産性を少なくとも70%向上させる。
- 8.6 2030年までに、世界の労働生産性を少なくとも70%向上させる。
- 8.7 2030年までに、世界の労働生産性を少なくとも70%向上させる。
- 8.8 2030年までに、世界の労働生産性を少なくとも70%向上させる。
- 8.9 2030年までに、世界の労働生産性を少なくとも70%向上させる。
- 8.10 2030年までに、世界の労働生産性を少なくとも70%向上させる。

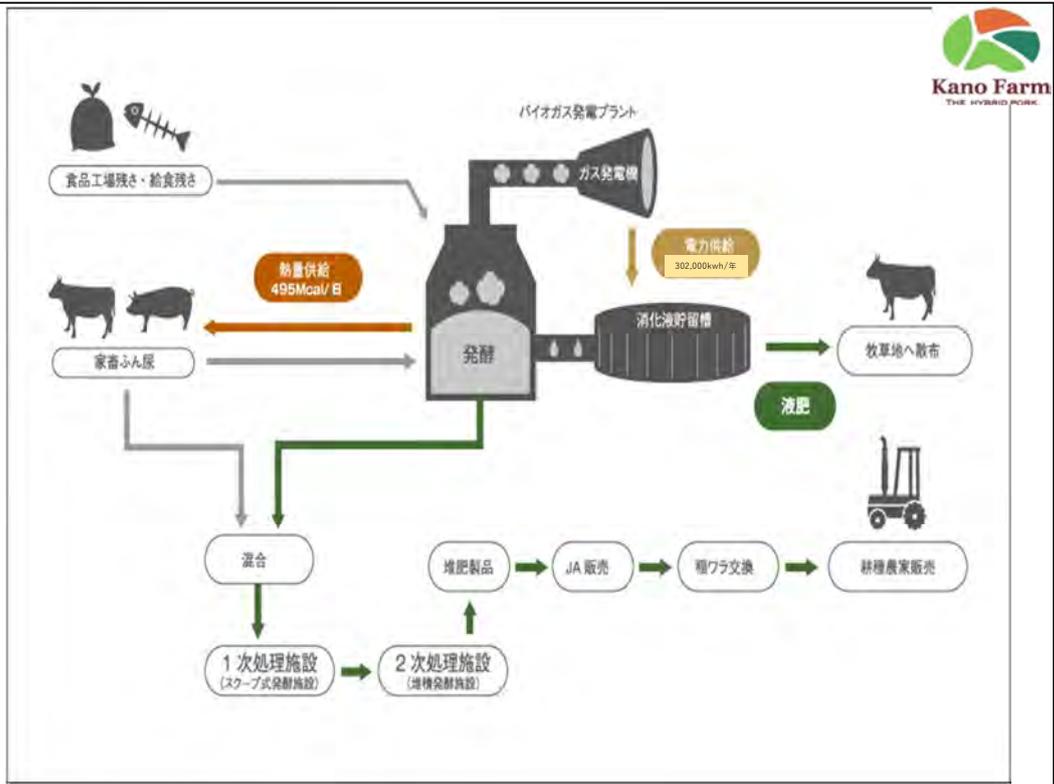


目標17 パートナリープで目標を達成しよう
持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化させる

③ 取組-1



「排泄物を堆肥へ」
「稲ワラ交換事業」
「バイオガス発電」



③ 取組-2

平成13年 第50回農業コンクールにて優秀賞受賞

平成16年 第33回日本農業賞

平成21年 山口県エコ・ファクトリー認定



③ 取組-3

Kano Farm Style

日経 POS セレクション 中国地区 No.1 商品
「ももハム切り落とし」



THE HYBRID PORK from KANO FARM

Kano Farm Style

肉のちよいつま
厚切りベーコン



フードアクション
ニッポンアワード
2019入賞

THE HYBRID PORK from KANO FARM



鹿野ファームグループは
生産から加工、販売まで全て一貫した管理方法で
徹底しております。

だからこそ「安心・安全」

これからも、生産者の見える商品作りを進めて、皆様に安心・安全
な商品をお届け致します。

2次・3次産業部門売上推移

